

RISMセミナーシリーズ第54回 データ駆動型AIセミナー(第13回)

固体材料の力学特性に関する計算科学的研究と機械学習ポテンシャル

松中 大介 教授 (信州大学工学部機械システム工学科)

概要：計算機性能の著しい向上と基礎理論・解析手法の発展にともなって、結晶性材料の変形や破壊などの力学現象を電子・原子レベルからモデリングする研究が精力的になされている。本講演では、マグネシウムの変形・破壊や異材界面を対象とした事例を中心に紹介する。

機械学習の素人が論文出版に至るまで

長田 光正 准教授 (信州大学繊維学部化学・材料学科)

概要：機械学習の素人だった講演者が、2018年に近くの教員たちと機械学習の取り組みをはじめ、2022年に論文出版に至るまでを紹介します。基本的に化学の実験をベースに研究を行ってきた講演者が、機械学習を使って感じたことを率直に話します。